

Uchikochi

Uchide no Koduchi

滋賀県の中小企業のための広報誌

Vol.
77

令和7年
6月発行

元気企業訪問

人材育成や障がい者雇用、若者の就労体験。
バネだけでなく、成長の機会をも創り出す。
宮川バネ工業株式会社

技術開発で高める“評価”。
困りごとに応え続ける圧電分野のサポーター。
リードテクノ株式会社

その技術には、“意図”がある。

時代を捉え発展する糸メーカー。

株式会社フジックス

起業家魂

株式会社想造技研

プラザゼミナール

「事業承継・M&A」

しがのミカタ

龍谷エクステンションセンター



公益財団法人

滋賀県産業支援プラザ



①職人一人ひとりが、金型製作から製品化までを行える技術を有しています。
②多様なバネ製作の要望に応えるために、設備も充実。いくつもの機械が工場内に設置されています。③家電、住宅、自動車など、使用用途に合わせて大きさや形も様々な板バネの製造を行っています。



つながっているのだと思います。
**多様な背景を持つ人の
成長と雇用の機会を創る**

質の高いものづくりのために
は、「人」の力は欠かすことができません。社員一人ひとりが昨日より今日、今日より明日と成長していく。そんな職場を作りたいと、教育にも力を注いできました。

社員には社会人マナーの基礎研修、技術研修などを実施し、外部講師を招いた勉強会や資格取得支援も行っています。社内の勉強会も定期的に開催し、社員をさまざまな委員に任命するなど、



④本社と工場機能が一拠点で完結。工場を滋賀県へ移して、50年を越えます。
⑤マルチフォーミング機で板バネ、線バネを加工。40年以上、マルチフォーミングの加工に携わってきた技術でお客様に喜ばれる製品をお届けしています。⑥保有するプレス加工機の一つ。プレス金型・加工技術であらゆる材質や形状に対応しています。

その活動を通じて社員同士の議論や学び合いも促しています。経営理念の中にある「今日できないことは明日できるように」という言葉を胸に成長へ挑戦し続ける風土を根付かせたい。その想いで取り組んできた結果、入社当初は人前で上手に話すことができなかった社員が、数年後には研修などの場で堂々と話すようになった姿を見ると、その成長に心からうれしく思います。

また、企業として地域への貢献も大切な使命です。2007年から障がい者雇用に取り組み、組み立てや検品の現場などで、多様な背景を持つ人たちが活躍できる

場をつくっています。さらに、社会的養護を受ける若者たちの就労体験も受け入れ、社会との接点づくりに力を注いできました。

私たちが持つものづくりの技術というのは、50年以上前から大きく変わらずにあるものです。これからもなくならないであろうものの、担い手は少なくなってきたいます。だからこそ、ものづくりの技術を後世に伝えていくことが大事だと考えています。そのために、人を雇い、成長へと導くことが重要だと思えます。そして、雇用の機会を創出することが、地域の発展へとつながると信じています。

**他業種他企業に学び、
地域と持続可能な未来へ**

私自身もさまざまな学ぶ機会をつくっています。滋賀県産業支援プラザの「滋賀県中小企業経営基盤・技術向上等研究会」では現在会長を務めさせていただいています。ありがたいことに、県内外の先進企業から経営や人材育成について、多くのことを学ぶ機会をいただけてきました。伊那食品工業の見学で感じた、人材が集まる魅力的な会社づくりは、今の私の経営者としての考え方にも特に強い影響を与えています。

また、滋賀県産業支援プラザが実施する「企業ものづくり診断事業」では、外部の視点から自社を見直す機会を得ました。省エネ活動の推進、CO₂削減、CSRへの取り組みも加速させ、より社会とつながる企業づくりに取り組み続けています。さらに販路開拓支援や商談会にも積極的に参加し、自社の強みをアピールする営業の機会もいただいています。

これからも、社員とともに成長し、地域に根差した企業として歩んでいきたい。小さなバネに込めた誇りと情熱を胸に、ものづくりの未来を切り拓いていきます。

人材育成や障がい者雇用、若者の就労体験。 バネだけでなく、 成長の機会をも創り出す。

板バネという分野に特化し、
独自の技術と対応力で成長を続ける宮川バネ工業。
ものづくりのやりがいを伝えながら、社員を育て、地域と歩む。
企業を導いてきた宮川社長が、成長の軌跡と未来へのビジョンを語る。

**板バネでいくと決めた
三代目のものづくりの覚悟**

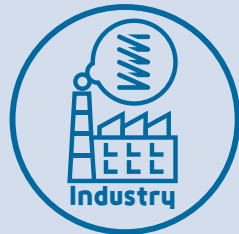
宮川バネ工業は、1953年に私の祖父が大阪で創業し、1973年に滋賀県東近江市へ拠点を移しました。以来、地域とともに歩んできた会社です。

もともとは線バネと板バネの両方を手がけていましたが、競合の少ない分野で強みを発揮しようとして「板バネ」へ特化する決断をしました。板バネは、金属の板を成形してバネ機能を持たせたもので、自動車のエンジン周りや内装部品、電化製品、農業機器、建築資

材など、さまざまな分野で使われています。直接目にする機会は多くない部品ですが、世の中を支える大きな役割を担っているのです。私たちは、試作品製作から金型製作、量産加工、組み立て、梱包まで一貫して対応できる体制を整えています。単なる「部品メーカー」ではなく、「最後まで責任を持つものづくり」を目指しています。

プレス加工機やフォーミング加工機などの機器を使い分け、求められる形状や、材料ロスを減らしたコストの削減などをご提案し続けてきました。要望に応えてきた積み重ねが、お客様からの信頼に

元氣企業訪問



宮川バネ工業株式会社

PROFILE

- 代表者：代表取締役 宮川 草平
- 従業員数：39名※2025年5月1日現在
- 本社所在地：滋賀県東近江市園町31-1
- 設立：1959年
- 主な事業内容：板バネを主とする金属部品製造、金属プレス金型の設計・製作
- TEL：0749-46-0193
- URL：https://m-b-k.co.jp/

代表取締役

みやがわ そう
宮川 草平 さん

問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ 経営支援部 販路開拓課
TEL：077-511-1413 FAX：077-511-1418

元氣企業訪問



リードテクノ株式会社

PROFILE

- 代表者：代表取締役 早野 修二
- 従業員数：19名 ※2025年5月20日現在
- 本社所在地：奈良県奈良市押熊町1587-60
【ラボ】滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5 龍谷大学REC202B
【滋賀県立テクノファクトリー】滋賀県草津市野路東7丁目3-46
- 設立：2005年
- 主な事業内容：セラミックス材料からその応用デバイスの製造・販売
- TEL：077-543-7819
- URL：<https://leadtechno.co.jp/>

代表取締役

はや 早野 修二 さん

問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ 連携推進部 イノベーション推進課
TEL:077-511-1414 FAX:077-511-1418

技術開発で高める「評価」。

困りごとに応え続ける 圧電分野のサポーター。

セラミックスなどの圧電材料を中心に、

圧電デバイスや計測器の開発を手がけるリードテクノ株式会社。

長年の研究の中で磨かれた技術のもと、産学連携や支援機関を通じて次なる飛躍を目指す。設立者であり代表取締役である早野さんが語る、研究を続けたことで生まれた独自性と今後の展望とは。



高い技術を追究してきました。技術開発には明確なゴールがあるわけではありません。お客様とのやりとりや試作開発の中で、初めて気づかされることが数多くあります。長く続けることで見えてくる課題と、その解決に向けたヒント、そして試行錯誤。その積み重ねが、私たちの開発力の源となっています。

龍谷大学との連携で、
生まれた大きな「評価」

現在、私たちは龍谷大学内にラボを構え、研究開発に取り組んでいます。大学の研究設備や教授の方々の知識、社会的な信用度を得られるのは、大きな魅力です。技術に強みを持つ私たちにとって、



①圧電・誘電体セラミックス材料については、オリジナル材料を取り揃え、用途に応じた試作開発を行っています。②研究室の一部屋。小型化・薄型化する材料・デバイスに対応しながら、お客様のニーズに合った圧電評価方法・計測機器の開発を進めています。③龍谷大学瀬田キャンパス内にラボを構えています。大学教授の知識や学生の力も大きな力に。



④龍谷大学内にはじめてラボを開設したのは、2006年のこと。以降スペースを拡充していき、現在では3部屋を借りて、研究に取り組んでいます。⑤研究室内には、セラミックスを焼くための機器も。⑥薄膜の検査装置。従来のセラミックス材料で培った評価技術があるからこそ生まれたもの。⑦従来の硬いセラミックスから柔らかいフィルム、薄膜について、基本的な圧電評価や各種試験についての受託サービスも行っています。

薄く小さな世界で模索する
技術開発の果てなきゴール

2002年に創業したリードテクノは、「圧電」という分野に長年携わってきた私が、その経験を活かして立ち上げました。我々ができることは、大手が展開しにくい領域にまで踏み込み、現場の「困りごと」を技術で解決すること。その姿勢で事業を展開してきました。

そもそも圧電（効果）とは、セラミックスなどの物質に圧力を加えると圧力に比例して電圧（電荷）が発生する現象をいいます。反対に、電圧を印加すると変形する現象を

逆圧電効果といいます。スピーカーやインクジェットプリンター、ガスコンロやライターなど、実は私たちの身の回りに多く応用されているものです。近年では、スマートフォンなどの部品をはじめ、より薄型、より低消費電力化が求められています。そうした市場からの要望にも応えられるように、私たちは高い圧電効果を持つ薄型のデバイスの開発に取り組んできました。また、薄型のデバイスのニーズが高まるにつれ、評価・検査装置の必要性も高まっています。こうした変化に応えるべく、より繊細で正確な評価方法を研究し、付加価値の

でのフィードバックを得ることで、品質や生産効率をより向上させることができます。この評価システムは、2024年に1号機の製品が完成し、半導体メーカーにアナウンスすると、全国から多くの問い合わせが寄せられました。

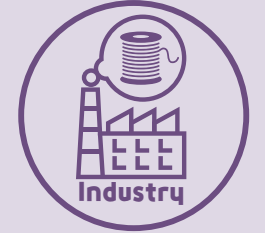
高付加価値の技術開発で
困りごとの解決へ

滋賀県産業支援プラザには、これら研究開発への挑戦を支えていただいています。2022年にはGoTech事業に申請し、無事採択されました。書類の書き方から実証方法まで、手厚い支援を受けたことは大きな力になりました。また、現在進行中の次のGoTech事業への申請でも、

同様にお力添えをいただいています。限られた時間の中で内容を磨き上げ、申請に臨むプロセスは大変でしたが、何よりも「技術を形にする」という点で、多くの示唆を得ることができました。さらに、ラボのスペースが少し手狭になったため、現在、滋賀県立テクノファクトリーを賃借しています。

今後は中国での展開を見据えつつ、日本ではさらなる高付加価値技術の開発を進めていきたいと考えています。人材確保や設備拡張の課題もありますが、人と技術、そして支援の力をうまく組み合わせ、これからの企業運営を目指していきます。これからも企業の「困りごと」を見つけ、技術で解決する——そんな会社であり続けたいと思っています。

元氣企業訪問



株式会社フジックス

PROFILE

- 代表者：代表取締役社長 藤井 一郎
- 従業員数：105名（連結357名）※2025年3月31日現在
- 本社所在地：京都市北区平野宮本町5番地
【滋賀事業所】滋賀県東近江市尻無町字堀之内988番地
- 設立：1950年
- 主な事業内容：各種繊維を用いた縫い糸・編み糸・刺しゅう糸などの製造販売、繊維製品・中間製品の販売、服飾雑貨製品の製造販売等
- TEL：075-463-8111
- URL：https://www.fjx.co.jp/

代表取締役社長

藤井 一郎さん

問い合わせ先

（公財）滋賀県産業支援プラザ 連携推進部 イノベーション推進課
TEL：077-511-1414 FAX：077-511-1418

その技術には、**意図**がある。

時代を捉え 発展する糸メーカー。

時代ごとの技術革新を先取りしながら、常に「変化への挑戦」を続けてきたフジックス。絹糸からナイロン、ポリエステルへ。

日本の縫製業が海外へ移る中でも、顧客の動きに合わせて拠点を展開し、近年は環境に配慮した「無水染色」の開発にも注力している。

3代目社長が、100年の軌跡と、次の時代に向けた想いを語る。



① 家庭用ミシンの普及とホームワイングブームを追い風に、大ヒット商品となります。今では家庭用ミシン糸市場で8割以上のシェアを占める主力ブランドに育ちました。私が社長に就任したのは1998年です。その頃には、日本の縫製業の海外移転が加速していました。父は満州での経験もあり、いち早く1993年に中国・上海に工場を設立していました。私の代ではチャイナリスクの分散も考え、ベトナムやタイなど

ASEAN諸国へも生産・販売拠点を展開しました。お客様が移る先に私たちも赴き、多品種・多色の糸をタイムリーに供給する。これは糸メーカーの宿命であり、リスク分散にもつながります。一方、縮小する国内市場に対しては、M&Aで対応しました。同業他社を買収して自動車シート用など非衣料分野へ進出したり、卸売会社やニット用糸の会社を吸収することで事業領域の拡大と販路の維持・強化を図ってきました。



② ニーズやトレンドなど、消費者の最前線を常にリサーチ。高い技術力と厳重な品質管理のもと、より良い製品をお客様にお届けしています。③ 製品の中には600色も展開するものも。投入する染料の分量を明確化し、微妙な色の違いも染め分けています。④ 染色工程の工場は2008年に滋賀県に移転。染色時に排出される汚水に対しては、大規模な排水処理装置を導入し、環境保護にも力を注いでいます。⑤ ミシン糸のベストセラー商品「シャッペスパン」をはじめ、約1,300種類のアイテムを展開しています。

絹糸から始まった社史 変化を捉え続けた挑戦の軌跡

フジックスの源流は、1921（大正10）年、祖父が京都で興した絹燃糸の販売業にさかのぼります。当時は和装から洋装へと移り変わる時代。売れ残った絹ショール用の燃糸を手縫い糸に転用することを思い付いたのが、縫い糸メーカーとしての出発点だったと聞いています。

祖父には先見の明があったのでしよう。大正末期から昭和初期にかけてミシンが普及し始めると、いち早く「ミシン糸」に商機を見い

厳しい要求に応える 高品質と品ぞろえ、 フジックスが選ばれる理由

私たちの強みは、第一に「品質」です。世界で最も品質に厳しいと言われる日本の顧客要求に応え続けてきた実績が、国内外での信頼につながっています。例えば、わずかな色の違いも許さない厳しい色管理、高速ミシンでも糸切れしない強度としなやかさ、美しい縫い上がり。こうした日本のモノづくりを支える高い品質要求に、私たちは応え続けてきました。もう一つは「品ぞろえ」です。衣料用から産業資材用、家庭用まで、太さや色、素材など多種多様な糸を幅広く供給できる体制を整えています。スーツ一着を縫うにも、箇所によって何種類もの糸が使われます。お客様が必要とする糸をワンストップで提供できることも、フジックスの大きな強みです。しかし、課題も山積しています。国内では縫製業の縮小に加え、協力工場も含めた後継者不足が深刻化しています。多品種少量生産を支える基盤が揺らぎかねません。また、染色工程は水を大量に使うため、国内外で環境規制が年々強化されており、事業継続上のリスクとなつていきます。

未来を拓く「無水染色」、 産業支援プラザとの二人三脚

こうした課題、特に環境問題への強い危機感が、挑戦の原動力となりました。それが、水や化学薬品をほとんど使わずにポリエステル繊維などを染色できる「超臨界流体染色」（無水染色）技術の開発です。染色工程での排水は、 Apparel産業が環境に大きな負荷を与える要因の一つとされています。2013年から福井大学との共同研究を開始し、粘り強く開発を進めてきました。この挑戦を力強く後押ししてくれたのが、滋賀県産業支援プラザです。Go-Tech事業採択への道筋を付けていただき、研究開発から事業化を見据えたサポートは、私たちのような中小企業にとって非常に大きな助けとなりました。プラザとの二人三脚があったからこそ、ここまで来れたと感じています。この技術は、排水処理が不要になるだけでなく、従来は染色が難しかった素材への応用や、染色以外のプロセスへの活用など新たな可能性を秘めています。環境負荷低減という時代の要請に応え、フジックスの新たな柱となる技術として、今後も開発を続けていきたいと考えています。

新事業創出にチャレンジ! 起業家魂



PROFILE

株式会社想造技研

代表取締役 ^{たき} ^{ざわ} ^{かず} ^{ひろ} 滝沢 一博さん

- 所在地: 大津市打出浜2-1 コラボしが21 409号室
- 設立: 2023年11月1日
- 事業内容: ROS (Robot Operating System) 等を活用したロボットおよび自動化システムの開発技術相談・受託開発、ロボット技術セミナー開催、ロボット部品販売代理店
- URL: <https://soozoorobo.com/>

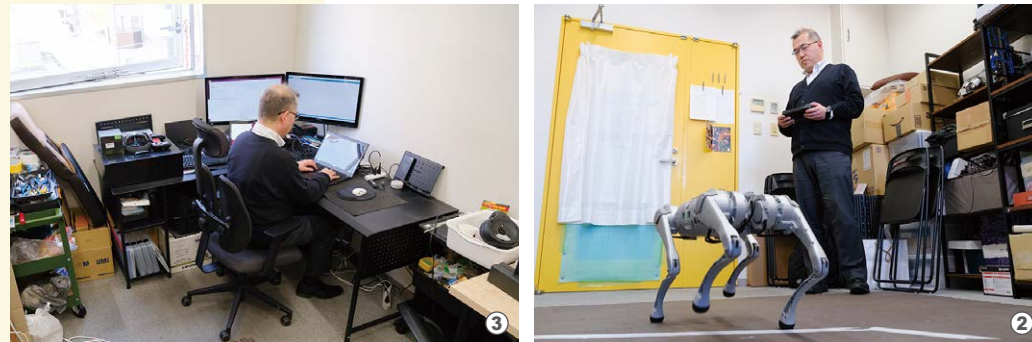
問い合わせ先

(公財) 滋賀県産業支援プラザ 経営支援部 創業支援課
TEL: 077-511-1412 FAX: 077-511-1418

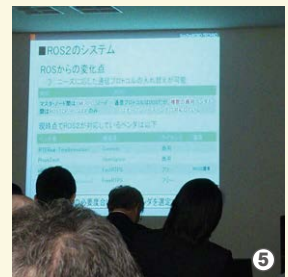
①ロボットの普及を推進し、中小企業の技術革新を支援。「誰もが開発に参画できる社会」を目指し、ROSを活用した柔軟なソリューションを提供。大企業からベンチャーまで幅広いパートナーと協働し、ロボット開発やIT活用の課題解決に取り組んでいます。



②四足歩行ロボットの実演操作を行う滝沢社長。見た目の愛らしさは裏腹に、内部には高度なROS技術が組み込まれています。大阪・関西万博でも実際に導入された技術なのだそうです。



③ROSを活用したロボット開発の現場では、ソースコードの理解と実機制御の両立が求められます。滝沢社長は「ソースコードレベルまで踏み込める技術者」として、企業の開発現場を支援しています。



④⑤「誰もが開発に参画できる社会」を目指し、セミナーの開催にも余念がありません。セミナーを通じ、ROSの仕組みやメリット・リスクを正しく伝え、ロボット開発に取り組むエンジニアたちが現場で活用できるスキルの習得を目指しています。

さらなるロボットの社会実装に向けて

産業ロボ（FA）とサービスロボの「両利き」エンジニアが拓く未来。

ロボット導入の壁となる技術者不足や難解さ。

その解決に挑むのが想造技研の滝沢社長だ。

大手メーカーで培ったFAとロボット開発の両面の知見を武器に、中小企業のロボット開発・導入を支援。

彼の「社会実装」への熱意と、起業家への示唆に富む言葉に迫る。

——ロボット技術支援の分野で起業された理由は

もともと大手の自動車メーカーや電機メーカーでソフトウェアエンジニアとして、工場の自動化（FA）やロボット開発に20年以上携わってきました。自動車生産ラインの立ち上げから、FAコントローラーやサーボモーターの開発、産業用ロボットの新技术開発、そしてサービスロボットの商品開発まで、幅広く経験させてもらいましたね。その傍ら、学生時代から趣味でロボット製作を続けて

いて、自作のロボットを展示会に出展したりもしていました。そうすると、色々な企業の方から「教えてほしい」「セミナーをやってほしい」といった相談を受ける機会が増えてきたのです。最初は無償でお手伝いしていましたが、次第に依頼が増え、これは本格的に事業として取り組むべきだと感じ、2023年に独立を決定しました。起業の志は「ロボット」の社会実装です。2000年代初頭に思い描かれていたような、ロボットが当たり前な社会で活躍する未来が、20年経ってもなかなか

か実現していない。その原因の一つは、ロボットを導入する際の技術的なハードルの高さや、現場のニーズとのミスマッチがあると感じています。特に中小企業の経営者の方々からは、「自社でロボットを開発・活用できる技術を持ちたい」という声をよく聞いていました。そこで、近年世界標準となりつつあるROS (Robot Operating System) などの技術を活用し、企業のロボット開発・導入を支援する事業を始めました。

——事業を進める上での強みや、今後の展望は

最大の強みは、工場の生産現場（FA）と、ロボットそのものを開発する技術の両方を深く理解している点です。FAにはFAのルールや言語（ラダー言語など）、厳しい安全規格があります。一方、ロボット開発にはソフトウェア、OS、AIといった全く異なる知識が必要です。多くの場合、ロボットを作る側は現場を知らず、現場の人はロボットのカスタマイズができません。だから、「かゆいところに手が届かない」ロボットやシステムになりがちです。私は幸いにも両方の実務経験が豊富なので、FA寄りの自動化案件から、サービスロボット開発のような案件まで、現場のニーズに合わせて横断的に最適な提案や技術支援

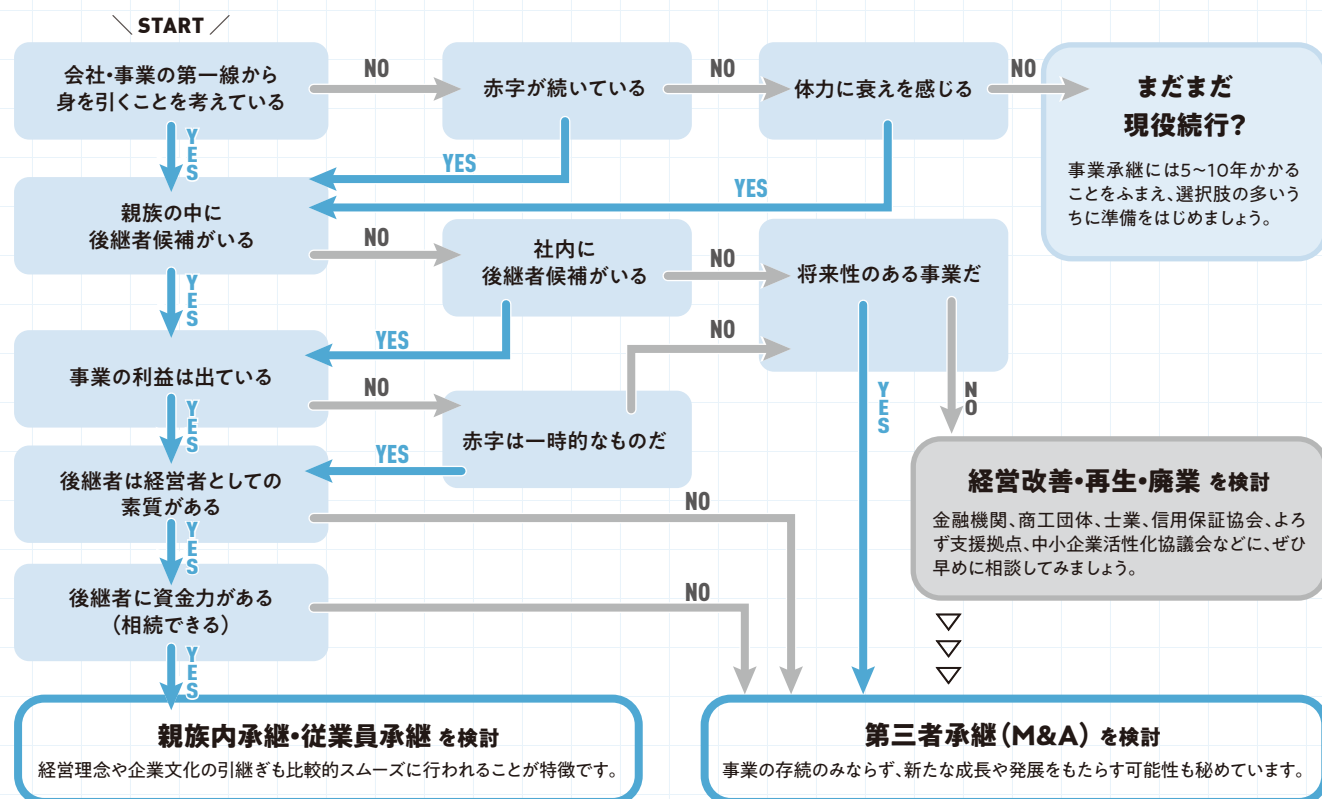
——産業支援プラザからの支援について

ができる。これが他社にはない強みだと自負しています。この強みを活かして、より多くの企業がロボット開発・導入に挑戦できるよう支援し、ロボットがもっと社会に普及する未来、つまり「ロボットの社会実装」に貢献するのが私のビジョンです。また、当社のクライアントは、京都、大阪、東京に広がっていますが、地元滋賀の企業様とはご縁がまだ、せっかく滋賀に拠点を構えているので、もっと連携してお仕事を広げていきたいですね。

独立にあたっては、滋賀県産業支援プラザにも大変お世話になりました。実は、2016年に開催されたしがユビビジネスプランコンテストで賞をいただいたのが

最初のきっかけで、その頃からご縁がありました。独立を決心してからは、産業支援プラザ内のハンズオン型支援施設「創業プラザ滋賀」に入居させていただき、経営や法律、定款の作り方、税理士の紹介など、専門外のことでも分からないことだらけだった私にとって、インキュベーション・マネジャーをはじめとする方々の親身なサポートは本当に心強かったです。今もこの場所をお借りできることに大変感謝しています。

最後に、起業を目指す方へ。私自身、会社員時代に自分の力をもっと発揮できなかったと感じて、独立を決心しました。だからこそ、同じように考えているエンジニアの方々に、起業という選択肢を示すような活動をしたい。自分の経験が、誰かの役に立てば嬉しいですね。



03

滋賀県の事業承継支援体制は？

滋賀県事業承継・引継ぎ支援センターは、事業承継・M&Aについて「何から着手すべきか分からない」という経営者の方々に支援しています。滋賀県では、県内中小企業者が抱える多様な経営課題に対し、より効果的な支援を実現するため、滋賀県中小企業活性化協議会、滋賀県よろず支援拠点、そして滋賀県事業承継・引継ぎ支援センターの3機関が緊密に連携しています。3機関が「コラボしが21」という同じ建物の中にあることが他県にはない強みで、各機関が持つ取組やノウハウ、まさに「衆知」を結集することで多様な課題解決に当たることができています。

▼中立な立場でのアドバイス

特定の利害関係を持たない専門家として、守秘義務を徹底したうえで安心して相談できる環境を提供しています。

▼マッチング支援

事業を「譲りたい」企業と「譲り受けたい」企業を結びつけるサポートを行っています。県内のみならず県外企業とのマッチング実績もあり、小規模M&Aの成功事例も多数あります。

▼計画策定のサポート

事業承継計画書の作成に困難を感じる経営者には、中小企業診断士や税理士などの専門家を紹介し、実効性の高い計画策定をバックアップしています。

教えてくれた方



滋賀県事業承継・引継ぎ支援センター統括責任者

中村 勝弘さん



▼問い合わせ先▼

滋賀県事業承継・引継ぎ支援センター

<http://shiga-hikitsugi.go.jp>

TEL: 077-511-1505

事業承継は現代表者の引退セレモニーではありません。皆さまが築き上げた貴重な経営資源を次世代でさらに発展させる事業計画の中の一つです。現代表が高齢になる前に、元気なうちに取り掛かりましょう。5年、10年という長期的視点に立ち、計画的に進めていくことが成功の鍵となります。滋賀県の貴重な経営資源と技術を次世代に引き継ぐため、一步を踏み出してみませんか。計画的に進めるためのお手伝いをセンターがさせていただきますので、お気軽にご相談ください。無料です。

後継者へつなぐ未来 事業承継・M&Aとは？

経営者の人生をかけた思いを未来へとつなぐ事業承継。滋賀県では多くの事業所が地域経済を支える一方で、後継者問題や事業継続の課題に直面しています。

事業承継は、長期的視点で計画的に取り組むことが、成功への鍵です。今回は「滋賀県事業承継・引継ぎ支援センター」統括責任者の中村勝弘さんに、事業承継の「いま」と進め方について伺いました。

02

どのように事業承継を進めればよいのか？

事業承継は大きく3つのステップで進めることが効果的だと考えています。また、次のページのフローチャートを活用して、現状の把握を試みましょう。

STEP 1

【現状の把握】

- 会社概要の把握
 - 現状と将来の見込み
 - キャッシュフロー
 - 知的資産 等
- 株主、親族関係の把握
- 個人財産の概要把握
 - 保有自社株式
 - 個人名義の土地、建物
 - 個人の負債、経営者保証 等

STEP 2

【後継者・承継方法の確定】

- 親族内に後継者候補がいるか？
- 社内に後継者候補がいるか？
- 後継者候補の能力・適性は？
- 後継者候補への意思確認は？

STEP 3

【事業承継計画の策定】

中長期の経営計画に、事業承継の時期、具体的な対策を盛り込んだ「事業承継計画表」の作成

- 後継者への承継時期、後継者育成 等
- 法定相続人及び相互の人間関係、株式保有状況の確認
- 相続財産の特定・相続税額の試算・納税方法の検討

【必要なこと】

【Ⅰ】親族内承継

- 関係者の理解
- 後継者教育
- 「会社の魅力」の磨き上げ
- 株式・財産の分配
- 後継者への生前贈与
- 会社法の活用
- 遺言の活用
- 経営承継円滑化法の活用
- 経営者保証・担保の処理

【Ⅱ】親族外承継（役員・従業員等）

- 関係者の理解・後継者教育
- 「会社の魅力」の磨き上げ
- 株式・財産の分配
- 経営者保証・担保の処理

【Ⅲ】親族外承継（第三者）

- M&Aの検討
- 「会社の魅力」の磨き上げ
- 各種支援策の活用

円滑な事業承継へ

※ STEP1とSTEP2については、便宜上、順番に記載していますが、並行して進めるケースも想定されます。また、STEP2が先行するケースもあり得ますが、その場合であっても、現経営者と後継者が共に現状の把握を行うことが重要となります。

01

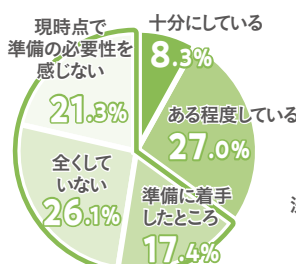
滋賀県の事業承継・M&Aに関する現状は？

2017年に中小企業庁は、「2025年に70歳を超える中小企業の経営者が約245万人、そのうちの約半数の127万人（日本企業全体の3分の1）が後継者未定という状況になる」と試算しました。2025年はまさに今年。コロナ禍の影響で休業も増加し、事業承継の環境は厳しさを増しています。

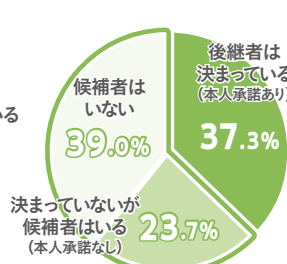
2024年1月に滋賀県事業承継ネットワーク事務局が実施したアンケートでは、「後継者は決まっている（本人承諾あり）」が37.3%、「決まっていなが候補者はいる（本人承諾なし）」が23.7%、「候補者はいない」が39.0%となっていました。後継者または候補者がいるのは約6割となっていますが、確定しているのは4割に満たない状況です。

また、事業承継の準備状況では、「全くしていない」が26.1%、「現時点で準備の必要性を感じない」が21.3%あり、「準備に着手したところ」が17.4%、「準備に着手したところである」の17.4%を合わせると、サポートが必要な事業者は61.7割程度に上ります。

事業承継の準備状況



後継者の状況



出典：中小企業の事業承継支援ニーズに関するアンケート調査報告書（令和6年1月）
滋賀県事業承継ネットワーク事務局

しがのミカタ

400年続く大学の知と力。
地域と企業へと循環させ
研究力を向上させていく。

地域の課題や知識を大学の中に取り込み、教育・研究に活かし、また社会へと返していく、龍谷エクステンションセンター（REC）。

センターの概要や中小企業への支援について、
木村睦センター長にお話を聞きました。

第三の使命として 知的資源の好循環をつくる

RECは、1991年に「教育」「研究」に並ぶ第三の使命として「エクステンション」を掲げ、社会と大学をつなぐ拠点として設立されました。本学のエクステンション活動は、大学が育む知的資源や人材を社会に還元するだけでなく、大学内の施設の貸し出しを行い、共に研究や技術力などを向上させていく、双方向型のサイクルが大きな特徴です。

利益の追求ではなく 知識の追求が目的

活動の柱は「産官学連携」「地域連携」「生涯学習」の三つ。公開

RECでは、年間150件ほどの共同研究や受託研究を含めた

講座や子ども向け理科実験教室

といった事業、自治体や地元団体

との連携、そして企業との技術・

研究協働など、地域とのつながり

を多面的に育んできました。

2039年、本学は創立400年

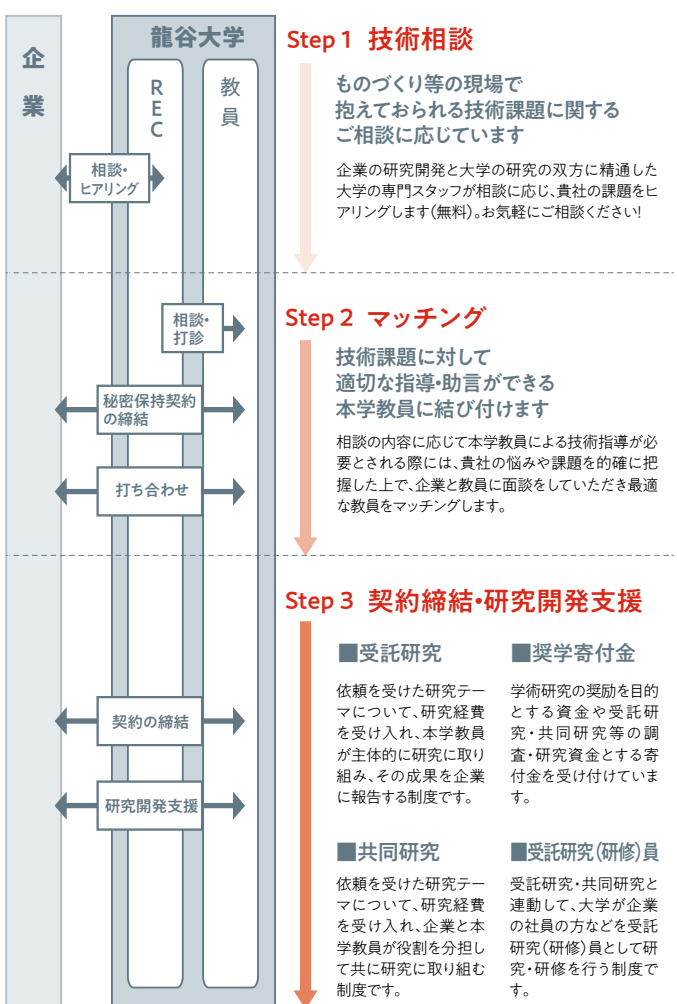
を迎えます。400周年、そして

その先の未来に向けて、さらに地域

社会への発展に寄与していくこと

を目指しています。

技術相談スキーム



龍谷大学

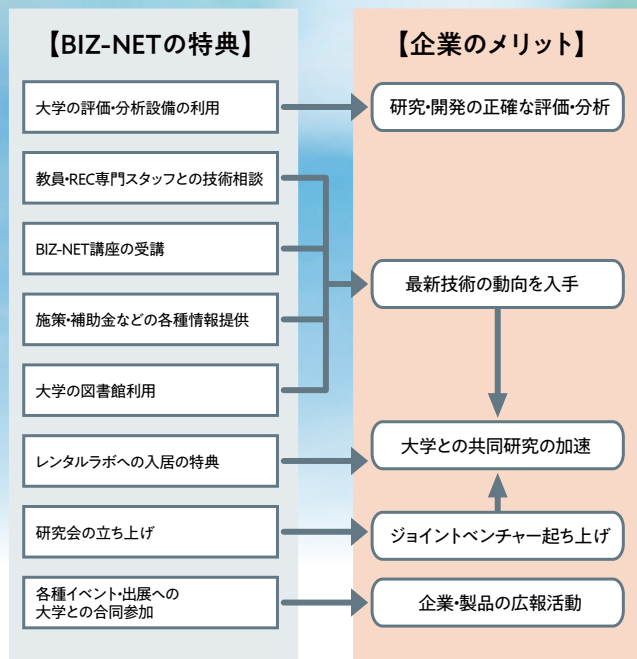
龍谷エクステンションセンター長

木村 睦さん

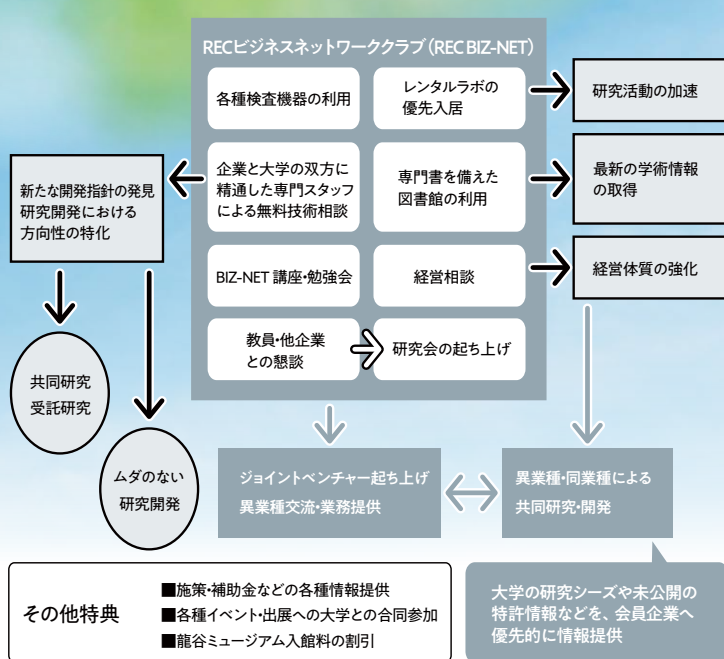
問い合わせ先

龍谷エクステンションセンター（滋賀）
TEL: 077-543-7743
E-MAIL: rec@ad.ryukoku.ac.jp
URL: https://rec.seta.ryukoku.ac.jp/iag/

BIZ-NETイメージ



REC BIZ-NETのサポート内容



RECホール▶

龍谷大学の瀬田キャンパス内にある龍谷エクステンションセンターの拠点。深草キャンパスにも拠点を構え、エクステンション活動に取り組んでいます。



▲生涯学習の一環として、夏休みに小学生向けの講座を開講。



▼幅広い世代の知的好奇心に応える公開講座も開講しています。

技術相談（右図参照）を行っていますが、そのうち約60%が中小企業です。滋賀県内にも多く存在するものづくり企業をサポートしています。例えば、キャンパス内に構える「レンタルラボ」25室の研究開発スペースを用意し、入居企業には必ず本学教員が指導教員として付きます。単に「場所を貸す」のではなく、大学の研究力や学生との連携を活かした共創型の支援を行っています。この取り組みは全国的にも先進的な試みとして注目を集めました。また、企業同士のネットワーク「REC BIZ-NET」

（上図参照の会員になると、本学の各種施設を利用できるほか、異業種・同業種問わず、企業間の交流や連携が生まれ、単独では難しい新事業の展開も可能となります。本学がこれら産官学の連携に力を入れているのは、「教育」「研究」が使命の一つにあるからです。ただ金銭的な利益を追い求めるのではなく、学生が育ち、研究を究め、地域貢献へとつながることが大きな目的となっています。

滋賀県産業支援プラザにはいくつもの面で、本学の教員も関わらせていただいています。例えば、

ものづくりIoT研究会への参加。メンバーとの意見交換を通じて、産業界と大学の双方向での技術向上につながればと考えています。また、本学教員が関わるGo-Tech事業の事業管理機関としてサポートいただいています。共に、地域・企業への貢献を図っていければ良いですね。

支援の根底にあるのは「誰一人取り残さない」

本学では学生ベンチャーの支援も行っており、起業マインドを育てるプログラムやコンテストの開催、活動拠点となる創業支援ブースの提供など、多方面からの支援を行っています。こうした学生の動きが企業と交わることで、また新しい価値が生まれるのです。

そして、RECの根底にあるのは、龍谷大学に根づく仏教の精神です。私たちは「誰一人取り残さない」という精神を胸に、学生や社会人、企業の規模や業種に関係なく、支援に取り組んでいます。学生・企業・地域と共に未来を創っていく。その地域社会に貢献するハブとして、大学や行政・企業などをつなぐ役割を果たしていきます。ぜひ、皆さまにもご協力をいただければ幸いです。

滋賀県牽引企業創出加速化事業

企業の成長を加速するための5つの支援プログラム

公益財団法人全国中小企業振興機関協会(以下「全国協会」という)の中小企業地域資源活用等促進事業に、プラザの「滋賀県牽引企業創出加速化事業」が採択されました。

中小企業地域資源活用等促進事業とは

地域の稼ぐ力と働く場を維持・創出し、経済の活性化を図るべく、中小企業者等が行う地域資源の活用等をはじめとした新事業展開、海外販路開拓、人材育成、創業等の取組や地域課題解決の取組を効果的に支援するため、都道府県中小企業振興機関が実施する支援事業を全国協会が助成するものです。

滋賀県牽引企業創出加速化事業

■採択事業名

令和7年4月1日～令和9年3月31日

■事業期間

■目的

地域経済を牽引し活性化する中小企業の創出加速
激しく変化するビジネス環境への対応が求められる時代において、中小企業の活性化・成長を加速し、将来的に滋賀県の地域経済を牽引する企業の創出を加速するようにサポートすることで、地域経済のボトムアップを図ります。

■対象

地域経済の牽引に向けて精力的に取り組む、滋賀県内に事業所を有する中小企業者

《令和7年度事業》

1 成長重視 伴走支援



次代を担う
企業を目指す

地域経済を牽引する企業を創出・加速するため、事業実施計画(5カ年)を作成し、コーディネーターによる伴走支援をはじめ、さまざまなサポートを行います。

- 支援対象 滋賀県内に拠点を置く中小企業のうち、付加価値増を目指す
※付加価値額6,000万円増(5年後)または付加価値率3%/年増(5年間平均)

■定員 10社

主な支援内容

- 専門コーディネーターによる伴走支援
- 目先の課題だけではなく、中長期的な視点で課題を解決するための無料の専門家派遣
- 企業の成長に資するセミナーやグループワークの実施

2 成長戦略 策定支援



グローバル・リーダーズ
アカデミー 開講!!

将来的に地域経済を牽引する企業を創出するため、次世代のリーダーを育成することを目的に成長戦略を策定するためのプログラムを実施します。

グローバル・リーダーズアカデミー

- 開催期間 2025年5月～2026年2月
- 参加資格 滋賀県内の経営者、経営幹部、次期経営者
- 定員 10社 ※選考により決定します。
- 参加費 無料(会場までの交通費等は各社負担)

前期(8月～9月)

後期(10月～2月)

基礎講座

ゼミ講座

成果発表会

3 中核人材 定着支援



現場を支える中核となる人材の確保から定着までに必要な費用を補助します。

若年層等人材確保・定着補助金

- 支援対象 滋賀県内に拠点を置く中小企業
①奨学金返済の企業肩代わり分の一部補助
②DX、GXスキルアップの費用補助
- 補助金額 ①9万円/年×5年間(補助率1/2)
②上限20万円(補助率1/2)
- 事業期間 交付決定日～2026年3月末

中核人材支援事業補助金

- 支援対象 ①若年層等人材確保・定着補助金 利用企業
②奨学金返還支援制度 導入企業
- 補助金額 ①9万円/年(補助率1/2)
②5万円(定額)

※詳細は決定次第、プラザHPで告知します。

4 DX実装 展開支援



「社内DX人材」の育成と小規模なDXの実践により得られた知見とスキルを活用して、現場への本格的な実装展開を行い、現場の生産性向上や自動化による働き方改革、デジタルを活用した新サービスの創出につながる取組に必要な経費の一部を補助します。

企業現場のDX実装展開補助金

- 支援対象 滋賀県内に拠点を置く中小企業
- 募集期間 2025年4月21日～6月16日
- 補助金額 上限500万円(補助率1/2)
- 事業期間 交付決定日～2026年2月末
- 補助対象 DXの取組に必要なロボット、センサー、カメラや通信機器、ソフトウェアの購入、クラウドの使用料および通信費(2年分)、機器導入に係る委託費

5 企業価値 向上支援



分岐点
ターニングポイント

企業の新たな取組や先進事例等を紹介する動画を作成し、びわ湖放送で放映します。また作成した動画は、自社の販促活動等で活用いただくことにより、企業価値向上を支援します。

主な支援内容

- 企業を紹介する5分動画の作成・提供
- びわ湖放送「滋賀経済NOW」BIZ LOGコーナーにて放映(毎月第3土曜日22:00～22:30、日曜日8:00～8:30)
放映後、番組の動画サイトおよびプラザのHPに掲載します。

※プラザの各種事業を利用いただいた企業から選定します。

■スケジュール



EVENT & SEMINAR

イベント・セミナー案内

掲載内容は予定ですので、変更になる場合があります。詳細は、産業支援プラザのホームページまたはメールマガジンをご確認ください。メールマガジンのお申し込みはこちらから▶



2025年6月～10月

6月12日(木)

令和7年度 事業者向け省エネ・再エネ支援制度説明会

- 会場：滋賀中央信用金庫 彦根本部 5階ホール(彦根市)
- 対象：県内の事業者、支援団体

プラザのCO₂ネットゼロ支援課が実施する事業の具体的なフローや活用事例等について解説します。

CO₂
ネットゼロ
支援課

6月19日(木)・7月3日(木)・7月24日(木)

企業の“PR力・成長力”応援セミナー(全4回のうち3回)

- 会場：コラボしが21 3階 研修室
- 対象：県内の事業者

<第2弾>顧客開拓!「展示会出展の実践手法」!～来場者を自社小間へ導き、「取引に繋がる方法」～<第3弾>「差別化!ブランディングの実践手法」!～売上拡大に繋がる「独自化ブランディングの方法」～<第4弾>「B to C新商品開発の実践手法」!～「新たなBtoCブランド立ち上げ方法」～

よろず
支援
拠点

6月24日(火)

株式上場を目指す社長塾 事業周知セミナー in長浜

- 会場：長浜商工会議所(長浜市)
- 対象：県内の事業者

100年企業かつ株式上場を果たした湖北工業株式会社より上場体験談等を伺うセミナーです。

経営
相談室

6月24日(火)・10月28日(火)

課題検討会

- 会場：コラボしが21 1階 BizBaseコラボ21
- 対象：県内の起業家・起業準備者・事業者

「創業プラザ滋賀」「BizBaseコラボ21」の利用者等の事業紹介およびプレゼンテーションを聞き、プレゼンターの課題の解決策と一緒に考える交流イベントです。

創業
支援課

7月1日(火)～10月21日(火)

アントレプレナー養成講座

- 会場：コラボしが21 1階 BizBaseコラボ21
- 対象：県内の起業家、起業準備者、事業者

事業を発展・安定させるために各種の基礎について学ぶ講座です。

創業
支援課

【7/1(火)】ピッチ基礎、【7/8(火)】写真・動画基礎、【7/15(火)・7/22(火)】Canva基礎講座(全2回)、【8/5(火)】申込フォーム基礎、【8/19(火)】アンケート基礎、【9/2(火)】LINE公式アカウント基礎、【9/9(火)】SNS基礎、【9/16(火)・10/7(火)】Instagram基礎(全2回)・プロフィール・数字の見方、【10/14(火)】事業計画基礎、【10/21(火)】財務諸表基礎

7月4日(金)

令和7年度 第1回 サプライチェーンにおけるCO₂削減取組普及セミナー

- 会場：コラボしが21 3階 中会議室
- 対象：県内の事業者

CO₂削減に取り組むことにより企業価値の向上やコスト削減を図りたい事業者に向けたセミナーです。

CO₂
ネットゼロ
支援課

7月4日(金)・7月11日(金)・7月18日(金)

第1弾 北部チャレンジショップ出店準備セミナー(全3回)

- 会場：滋賀県立文化産業交流会館 2階 第2会議室(米原市)
- 対象：県北部地域(長浜市・高島市・米原市)に居住し
創業後間もない事業者、県北部地域で創業を目指す方

先輩起業家の話を聞いて出店につなげるセミナーです。

創業
支援課

7月7日(月)

営業力強化セミナー

- 会場：コラボしが21 3階 中会議室2
- 対象：県内の事業者

新規顧客開拓のさらなる向上を図る中小企業向けに、効果的な商談に必要な企業分析から提案内容の検討、提案資料の作成までを学ぶことができるセミナーです。

販路
開拓課

7月10日(木)

経営基盤・技術向上等研究会総会、第1回 研究会

- 会場：ホテルニューオウミ(近江八幡市)
- 対象：令和7年度 研究会の会員企業

〈経営基盤・技術向上等研究会総会〉令和6年度事業実績報告および令和7年度事業説明等を行います。〈第1回研究会〉株式会社avex 代表取締役会長 加藤明彦氏によるセミナーです。

販路
開拓課

7月11日(金)

令和7年度 事業者向け省エネ・再エネ支援制度説明会

- 会場：しがぎん草津ビル 6階 大会議室(草津市)
- 対象：県内の事業者、支援団体

プラザのCO₂ネットゼロ支援課が実施する事業の具体的なフローや活用事例等について解説します。

CO₂
ネットゼロ
支援課

7月15日(火)

第1回 医療機器開発セミナー

- 会場：滋賀医科大学(大津市)
- 対象：しがオープンイノベーションフォーラム会員(当日入会可)

新たな医療機器開発に意欲的な企業を対象に、開発のための実践的な知識を学ぶセミナーです。

イノベ
ション
推進課

7月23日(水)・7月24日(木)

しがビジネスマッチング会 in草津

- 会場：草津市立市民総合交流センター6階大会議室(草津市)
- 対象：<発注企業> 新規取引先の開拓や情報収集を目的とする県内外の企業(製造業、商社など) <受注企業> 県内に事業所を有し、発注企業の求める技術・製品を有するものづくり中小企業

※発注企業・受注企業は、予めプラザへの会員登録(無料)が必要です。
発注企業と受注企業による個別面談方式(事前予約、直接対面型)で、直接対面により具体的な商談や情報交換を行います。1社あたりの面談時間は25分、最大7回の面談が可能です。

販路
開拓課

7月23日(水)・7月30日(水)・8月6日(水)

第2弾 北部チャレンジショップ出店準備セミナー(全3回)

- 会場：滋賀県立文化産業交流会館 2階 第2会議室(米原市)
- 対象：県北部地域(長浜市・高島市・米原市)に居住し
創業後間もない事業者、県北部地域で創業を目指す方

北部チャレンジショップの出店に向けて実践的な知識を学ぶセミナーです。

創業
支援課

7月29日(火)・8月26日(火)・9月30日(火)

ピッチ交流会

- 会場：コラボしが21 1階 BizBaseコラボ21
- 対象：県内の事業者

県内の事業者による3分のピッチ(ショートプレゼン)および参加者同士の親睦を図るイベントです。

創業
支援課

8月4日(月)

IoT研究会 第1回定例会

- 会場：コラボしが21 3階 大会議室
- 対象：どなたでも

中小企業がロボットを導入する意義について、専門家から事例等を説明します。

イノベ
ション
推進課

8月～2月

成長戦略策定支援／グローバル・リーダーズアカデミー

- 会場：未定
- 対象：経営者、経営幹部、アトツギ人材(定員10社)

県経済を牽引する次世代のリーダーを育成する成長戦略策定プログラムです。(基礎講座4回、ゼミ講座4回、中間・成果発表会等)

経営
相談室

8月～2月

株式上場を目指す社長塾

- 会場：未定
- 対象：株式上場を目指す経営者等(定員10社)

株式上場を目指す経営者のための社長塾です。

経営
相談室

9月3日(水)

オープンイノベーション推進シンポジウム

- 会場：コラボしが21 3階 大会議室
- 対象：どなたでも

ペロブスカイト太陽電池の生みの親として知られる、桐蔭横浜大学特任教授 宮坂力氏より、同技術の最新情報について講演いただきます。

イノベ
ション
推進課

9月

コストダウンにつながる省エネ・再エネ研修会

- 会場：未定
- 対象：県内の事業者

エネルギー管理や温室効果ガス削減の具体的な方法を学ぶための研修会です。

CO₂
ネットゼロ
支援課

9月～10月

第2・3回 経営基盤・技術向上等研究会

- 会場：未定
- 対象：研究会の会員企業

先端技術の向上や自立化に成功した企業等による講演および工場見学等を通じ、技術・製品・市場等の開発・開拓に役立つ知識の習得や情報交換、ネットワーク形成の事例研究を行います。

販路
開拓課

9月～12月

現場管理者向け講座(8日間)

- 会場：未定
- 対象：県内企業の事業所等の現場管理者、リーダー、候補者

生産プロセスの最適化に向けた改善活動を自主的に推進する「生産性の高い現場をつくる」リーダーを育成します。

しが産業
生産性向上
経営改善
センター

10月1日(水)～10月3日(金)

機械要素技術展【大阪】

- 会場：インテックス大阪(大阪市)
- 対象：しがオープンイノベーションフォーラム会員

県内中小企業の秀でた製品・保有技術を展示し、県内外を問わず幅広い川下企業との技術マッチングを行います。

イノベ
ション
推進課

10月

下請かけこみ寺 無料弁護士相談会

- 会場：未定
- 対象：県内の事業者

事業者間の取引等で発生した問題に対し、無料で弁護士相談を行います。

販路
開拓課

10月

下請振興セミナー

- 会場：未定
- 対象：県内の下請事業者

下請取引適正化に関するセミナーです。

販路
開拓課

10月

北部チャレンジショップ

- 会場：BIWAKO PICNIC BASE(長浜市)、シェアキッチン白湖(高島市)、古民家Utakichi(米原市)
- 対象：どなたでも

県北部地域の事業者や起業を目指す方がチャレンジショップに出店します。ぜひご来場ください。

創業
支援課



公益財団法人

滋賀県産業支援プラザ

(公財) 滋賀県産業支援プラザは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしが21(2階)

TEL:077-511-1410(代表) FAX:077-511-1418(共通)

[URL] <https://www.shigaplaza.or.jp>

■JR琵琶湖線(東海道線)「大津」駅より徒歩約20分、「膳所」駅より徒歩約15分

■京阪電鉄「石場」駅より徒歩約3分(JR膳所駅、JR石山駅乗り換え)

